

発達障害のある学生への就労準備プログラム 働くチカラPROJECT ～ライフスキル、ソフトスキルの支援と今後の展望～

- 渡辺 明日香（エンカレッジ早稲田駅前 主任）
- 高橋 亜希子（株式会社エンカレッジ 取締役）
- 玉井 龍斗（エンカレッジ早稲田駅前 コーディネーター）
- 南川 茉莉花（エンカレッジ早稲田駅前 コーディネーター）

会社概要

Vision

働きづらさを抱えた全ての方が、一人ひとりの良さを活かしてイキイキと活躍できる社会を創る

Mission

『働きづらさを抱えた人を勇気づける存在』として、
出会い・成長・安心の機会を提供する

会社名 株式会社エンカレッジ

■発達障害のある方に特化した「就労移行支援事業所エンカレッジ」

東京（早稲田）、大阪（本町・心斎橋・天満橋）、京都（京都駅前・京都三条）

■発達障害やコミュニケーションが苦手な大学生の就職支援プログラム

「働くチカラPROJECT」

事業内容 ■「働きたい！」を支えるICTプラットフォーム「Boosterキャリア」

■オンラインによる学生向け就業体験サービス「オンラインしごと体験」

■障害学生の就活・就職・求人サイト「家でも就活オンライン」

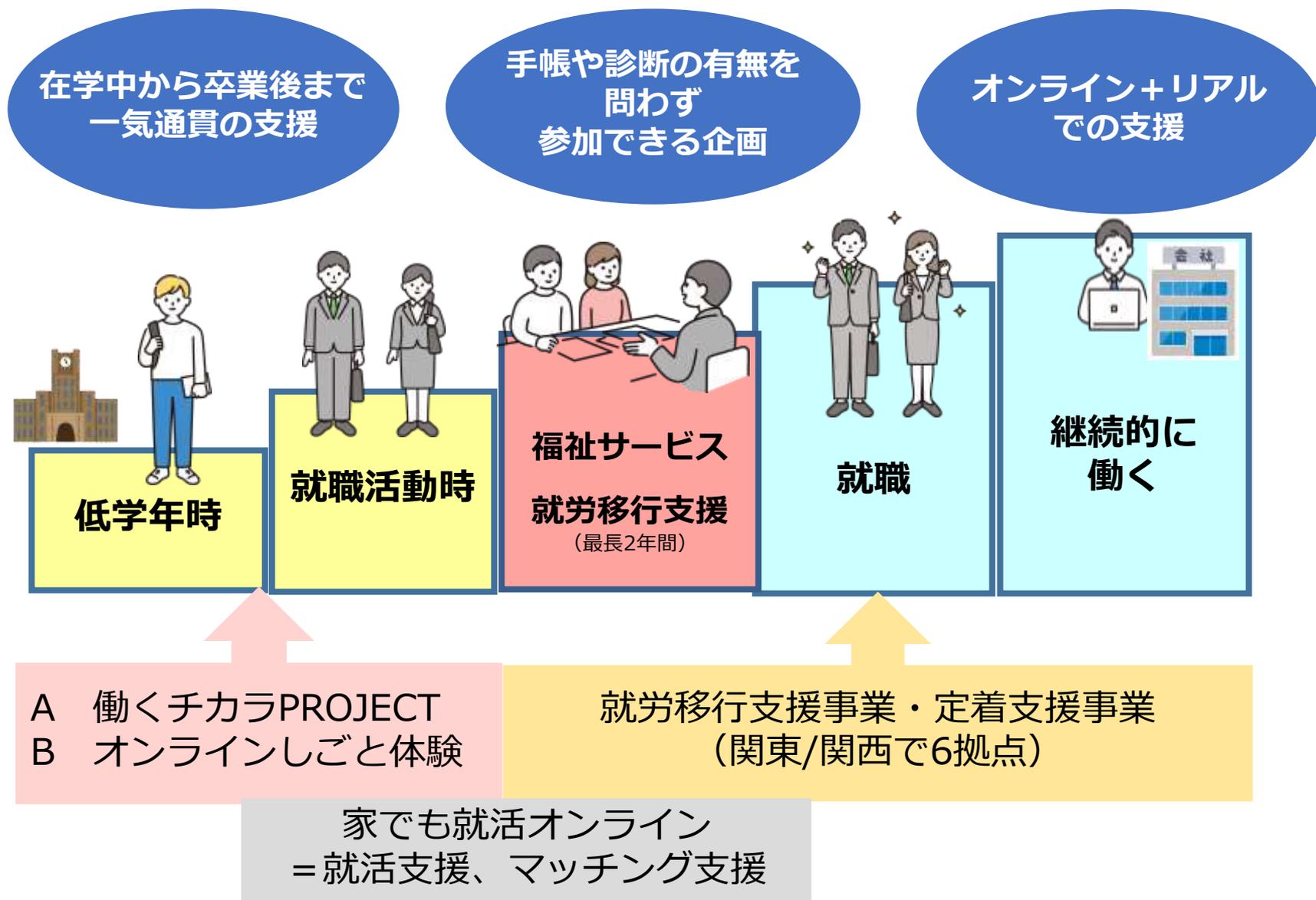
■学校法人支援サービス（発達障害学生や学校生活・就活に困難さを抱える学生向け講座、教職員向け研修など）

■障害者採用支援サービス（コンサルティング、定着支援）

設立 2013年7月

従業員数 58名（2024年4月現在）

在学中から社会への橋渡し（点ではなく面の支援）



1.はじめに -課題意識

- 発達障害学生の増加と支援体制の限界
- 就職時に障害特性を自己理解して自分に合った職業選択をする難しさ
- 就職活動での失敗体験の積み重ねや困難により二次障害を抱える

- ①学生にとって社会で必要となるライフスキル、ソフトスキルを学ぶ機会・経験の重要性
- ②大学と企業と連携した支援の重要性

2. 取り組み - 就労準備プログラム

在学中

卒業後



働くチカラPROJECT

(診断・手帳の有無を問わずに参加OK!)

- 24年度東京会場のプログラム内容
 - ・ 企業へ行ってみよう!
 - ・ インターンシップ
 - ・ 就活ゼミ
 - ・ 「しごと」を体験してみよう!
 - ・ ピアカフェ

就労移行支援

エンカレッジ
早稲田駅前
(長期伴走型)



【学び】



オンラインしごと体験

【マッチング】

家でも就活
オンライン



2. 取り組み – 就労準備プログラム



■ 24年度 東京会場のプログラム内容

- 企業へ行ってみよう！
LIXIL Advanced Showroom
エルアイ武田
ポールトゥウィン
- 「しごと」を体験してみよう！
物流、営業、事務の一部を体験
- インターンシップ
当事者の学生同士で就活や生活での
困りを話すカフェ
- 就活ゼミ
Vol.1 「障害者雇用の現状と今後の見通し」
Vol.2 「いろいろな働き方を知ろう」
Vol.3 「就職はゴールではなくスタート」

3.プログラムの特徴と支援のポイント

ポイント

①経験すること、ロールモデルを知る機会づくり

学生の困り

- 得意なことがわからない
- やりたいことがわからない
- 働くイメージがつきにくい
- アルバイトやインターンシップの選考通過が難しい

プログラム内容や特徴

- しごと体験
 - ↳ 振り返り面談
 - ↳ **フィードバックレポート**
 - ↳ 働く上で必要なことを知る
- 企業訪問
 - ↳ 先輩社員のお話
(業務内容、1日のスケジュール)
 - ↳ ビジネスマナーを知る
- インターンシップ
 - ↳ 業務体験
 - ↳ 先輩社員とのコミュニケーション

ポイント

②働く上で必要なことを知る

学生の困り

- 就活は何からすればいいかわからない
- どのように企業を選べばいいかわからない
- 漠然とした不安
- 内定が目的となり、多くの会社にエントリー、しかしうまくいかない
- 大学卒業後はすぐに働かないと気持ち焦る

プログラム内容や特徴

- 就活ゼミ
 - ↳ 働く上で重要なライフスキル、ソフトスキルの話
 - ↳ 様々な働き方を知る
- 企業訪問
 - ↳ 複数の業界
 - ↳ 特例子会社を知る
- 先輩社員の話
 - ↳ 躰き経験と乗り越えた話
 - ↳ 先輩の企業選びを知る
- インターンシップ
 - ↳ ビジネスマナーの経験

ポイント

③頼れる場所づくり、一步踏み出す後押し

学生の困り

- 障害者雇用の就活は学内で孤独
- 不安
- 何をすればいいかわからない
- 見通しのなさ
- 正解や常識のわからなさ
- 周囲に障害についての相談のしづらさ

プログラム内容や特徴

- ピアカフェ
 - ↳ 他大学の学生との交流
 - ↳ 同じ悩みをもつ仲間との出会い
- 先輩社員の話
 - ↳ 同じような経験をしてきた人の話
 - ↳ 就活の流れを知る
- エンカレッジのスタッフとの相談
- 家族や大学支援者と一緒に参加できるプログラム
- 診断や手帳がなくても参加できる

ポイント

双方の課題解決のための取り組みと社会への橋渡し



学内の課題

- 障害のある学生増加
- 支援体制の限界
- 障害者雇用の情報

働く上で重要となる

- 情報の発信
(ライフスキル、ソフトスキル)
- 機会の提供
- 振り返り
- 進路相談

企業の課題

- 応募者が少ない
- 会社の認知度
- 採用後の定着

4. 事例紹介

事例1：障害者雇用での実際の働き方や業務を知ることで一步踏み出せた



【ポイント】

- ①大学支援者と一緒に企業訪問イベントに参加いただくことで、本人も安心して参加できた。
- ②大学支援者から応募書類についての相談連絡あり。
- ③障害者雇用の実際を知り、イメージに囚われずに決断ができた。

大学の学生相談室で就職活動について相談をしていた。

大学支援者の勧めで夏の企業訪問イベントに参加。

障害者雇用での業務や働き方を知り、
訪問企業にエントリー。

これまで障害者雇用で働くことへのマイナスイメージ
や抵抗があったが、イベント参加をきっかけに障害者
雇用で働くことへの決意が決まる。

別の企業の障害者雇用で内定！

事例2：就労に必要な準備段階を理解し、 自分に合った就活方法を選択した



【ポイント】

- ①ご家族と一緒にプログラムに参加することで、就労に必要な準備や就活の方向性の確認ができ、理解が得られた。
- ②先輩の就活のロールモデルを知ることによって、様々な就活の方法を知れた。
- ③焦って就職しなくても大丈夫だと思えた。

新卒入社を目標に障害者雇用での就職活動を行う。

ご両親も熱心に情報収集し、エントリーを行う。

ご両親と一緒に働くチカラPROJECTのプログラムに参加。

会社を選ぶ基準がわからない、志望動機が書けない、障害特性や配慮事項もどのようにかけばいいかわからない… エンカレッジで個別相談実施。

ご家族とご本人の現状を整理。経験を積み重ねながら自己理解を深めていく方が、自分にあった就職につながると判断し、大学卒業後から就労移行支援サービスの利用開始。

5.効果

学生



- ・ リアルに見て・聞いて、わかることで就活や将来への不安解消に
- ・ 自分にあった就活・働き方を考えるきっかけになる

大学支援者



- ・ 様々な学生を知ることで自大学の課題がクリアになる機会
- ・ 学内だけで対応が難しい学生に視野を広げるきっかけに

ご家族



- ・ 企業や雇用の実状を正しく知る機会
- ・ リアルに見る・聞く・体験することでポジティブな実感を持てる
- ・ 悩みの共有の場となる

6. 今後の展望

企業との 連携

- 学生にとって会社を知る機会 ⇒企業認知度を高める
- 職場環境、業務を知る機会 ⇒応募者につながる
- 先輩社員のお話 ⇒求める人物の共有
- 企業観点 ⇒安定して長く働く
(ライフスキル、ソフトスキルの重要性を伝える)

大学支援者 との連携

- 選択肢を知り、見通しがもてるような機会活用
(不安の軽減)
- 必要な情報に学生がアクセスしやすいようにする
- 挑戦することを自己選択する後押し

今後に向けて

- 情報発信
 - ↳ 多様な就活スタイル、事例の発信
 - ↳ アクセスしやすい活動やイベントの発信
- 経験や学びの機会の提供
 - ↳ 学生同士、先輩社員、当事者、企業との交流の機会